

第3回総合計画市民会議の開催結果

①WSの総括

グループ	テーマ案
Aグループ	<p>「若者が中心となったまちづくり」～世代間を超えた住みやすい南砺市～</p> <p>「将来を見据えたまち」（定住・子育て）</p> <p>「可能性を伸ばす・支えるまち」（教育）</p> <p>「意見を取り込むまち」（情報・協働）</p>
Bグループ	<p>「自分事として考え・行動するまちづくり」～住みたくなる南砺市～</p> <p>「Uターン」、「企業」、「つながり」、「防災」、「情報」</p>
Cグループ	<p>守る・みがく・はぐくむまちづくり</p> <p>「守る」～安心で満足なくらしができるまち～（ライフスタイル・住宅）</p> <p>「みがく」～地域資源を活用したまち～（観光・商業）</p> <p>「はぐくむ」～認めあい、成長できるまち～（交流・人材育成）</p>
Dグループ	<p>「あつめる・円でつながるまちづくり」～10年後の未来～</p> <p>「Uターン・定住」、「若者の仕事感」、「結婚のしやすさ」</p> <p>「家族・移住」、「観光・イベント」</p>



②各テーブルにおけるWS結果の概要

【Aグループ】

「若者が中心となったまちづくり」～世代間を超えた住みやすい南砺市～

「将来を見据えたまち」（定住・子育て）

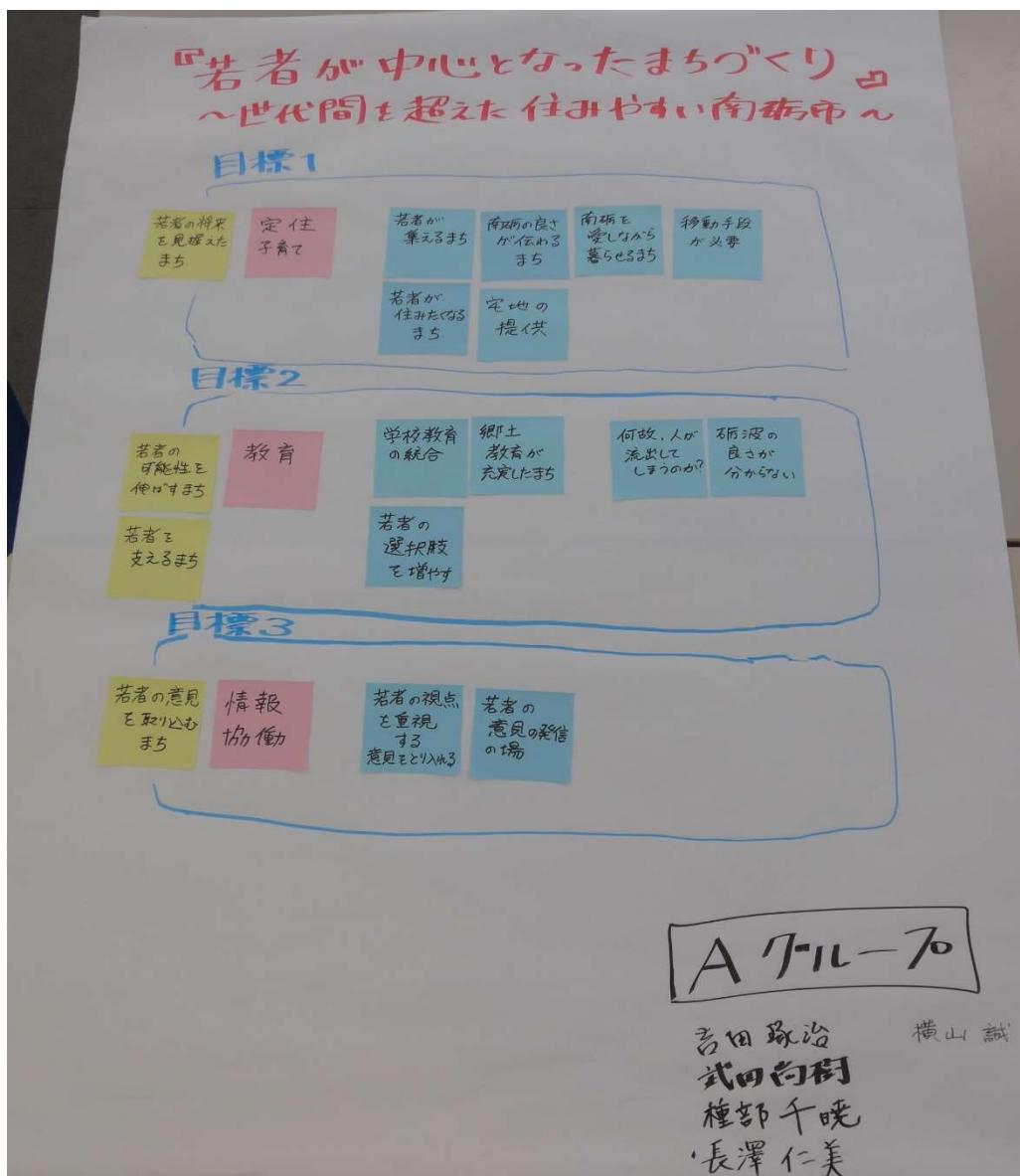
- ・南砺市の良さや愛が伝わるまち
- ・若者が集える、住みたくなるまち
- ・住む場所の提供、交通の充実

「可能性を伸ばす・支えるまち」（教育）

- ・郷土教育の充実、学校教育の統合
- ・若者の選択肢を増やす

「意見を取り込むまち」（情報・協働）

- ・若者の視点を重視する、意見を取り入れる
- ・若者の意見の発信の場



【Bグループ】

「自分事として考え・行動するまちづくり」～住みたくなる南砺市～

「Uターン」

- ・移住奨励制度富山 No.1
- ・癒されに戻りたくなる
- ・若者だけではなく誰でも戻ってこれる

「企業」

- ・企業誘致⇒地域産業の活性化（南砺版コメダ）
- ・某コーヒーチェーン店舗の誘致
- ・用地や施設があるだけ

「つながり」

- ・旧町村単位での連係・活動に力を入れる
- ・“自分事”として考え、行動する

「防災」

- ・災害が少なく、異常気象に対応できるまち

「情報」

- ・“発信力”・“受信力”的強化
- ・“cafe”のような自由な雰囲気で話せる場づくり
- ・各制度の利用状況が分かるようにする



【Cグループ】

守る・みがく・はぐくむまちづくり

「守る」～安心で満足なくらしができるまち～（ライフスタイル・住宅）

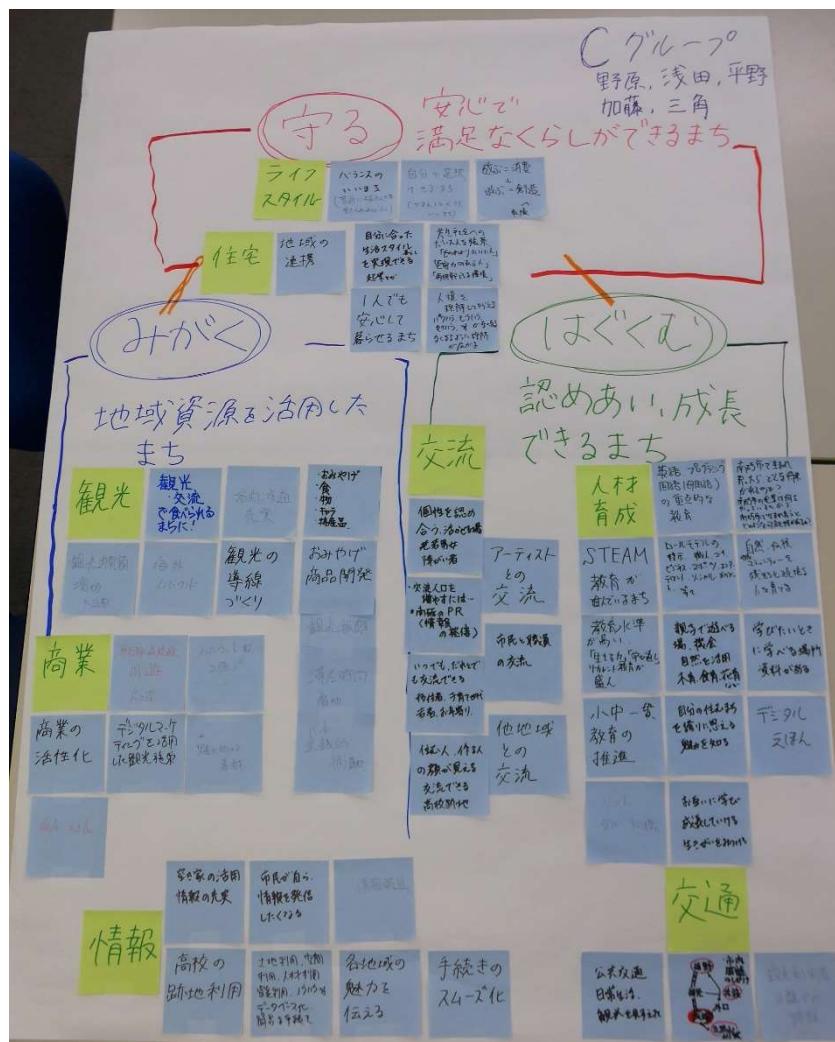
- ・自分で選択できるまち（我慢しない・生活スタイル・起業）
 - ・「遊ぶ」の転換、「消費⇒創造」
 - ・共生社会へのだいたいんな施策 「ものわかりのいい人」「包容力のある人」「再挑戦できる環境」
 - ・人権を理解してもらえる環境（パワハラ、モラハラ等がない）

「みがく」～地域資源を活用したまち～（観光・商業）

- ・観光の導線づくり、県西部城端線周遊、デジタルマーケティングを活用した観光施策
 - ・魅力的な素材（食・お土産・特産品・キャラクター）
 - ・宿泊・公共交通の充実（観光利用者目線）
 - ・観光消費額の増加、インバウンド数2倍
 - ・空き家の活用情報の充実
 - ・市民が自ら情報を発信、魅力を伝える
 - ・手続きのスマート化（跡地利用、土地利用、人材利用等）

「はぐくむ」～認め合い、成長できるまち～（交流・人材育成）

- ・アーティストとの交流、個性を認め合う・活かせる場
 - ・いつでも・誰とでも交流できる（老若男女、市民と職員、他地域等）
 - ・学びたいときに学べる場所や資料がある、デジタル絵本・ソフト
 - ・教育水準が高い、リカレント教育、小中一貫教育の推進
 - ・人を育てる（職人、スポーツ選手等）
 - ・自然・伝統コミュニティーを残す、親子で遊べる機会（木・食・花育等）



【Dグループ】

「あつめる・円でつながるまちづくり」～10年後の未来～

「Uターン・定住」

- ・郷土愛の醸成、子供の頃からのすりこみ
- ・伝統的な祭り（大人の参加、地元企業の協力）

「若者の仕事感」

- ・市内で働く、住む所が大切
- ・業種にこだわらない

「結婚のしやすさ」

- ・未婚者数・年代別の対策、移動者数の数値化
- ・移住者の増加（女性）、出生数の増加、産みやすい環境

「家族・移住」

- ・核家族が共働きできる・核家族を支援できる
- ・待機児童ゼロ、学童の充実（時間延長、高学年の受け入れ）

「観光・イベント」

- ・集客イベントの実施

